

新しい図書館のあり方についてのヒアリング調査結果

1. 調査の概要

新しい図書館のあり方を検討するにあたり、駅前利用者（特に大学生などの若者）が、日頃図書館をどのように利用し、どのような要望を持っているかを把握し、図書館整備基本計画に反映していくことを目的に、ヒアリング調査を実施した。

■調査の方法及び概要

対 象：泉大津駅前の来訪者

調査方法：対面によるヒアリング調査

調査時期：平成30年9月26日（水）、10月10日（水）の2日間

回収状況：51票

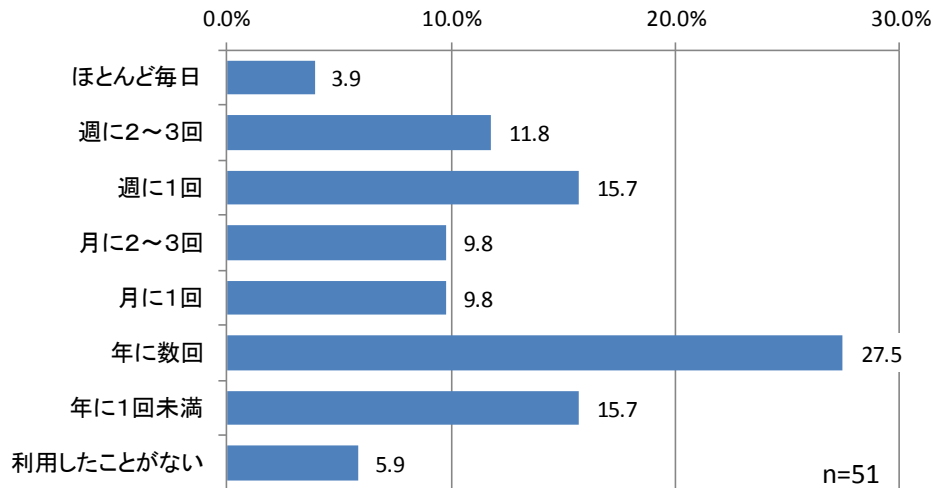
■報告書の見方

- ・グラフに表示されているn値は有効回答数である。
- ・集計結果の%表示は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ・設問ごとの年齢別や地区別の集計は、無回答を排除しているため、有効回答数の合計が、全体の有効回答数と合致しないことがある。

2. 調査結果

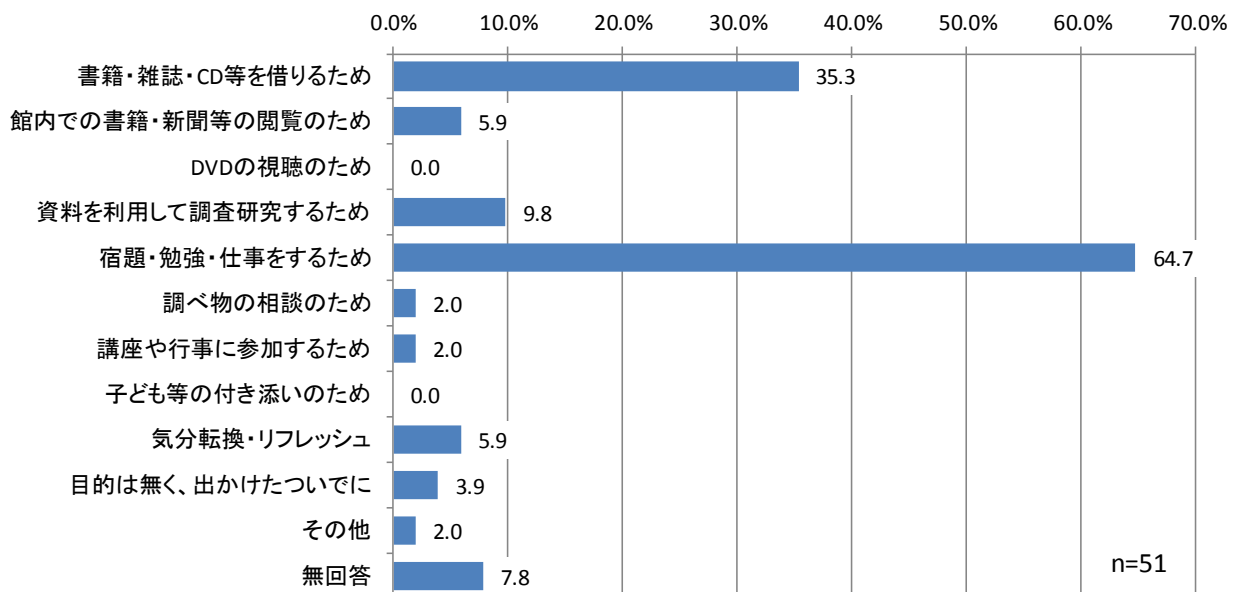
問 1. あなたは日頃、図書館を利用されていますか。

- ・利用頻度は、「年に数回」が最も多く 27.5%、次いで「週に1回」「年に1回未満」が 15.7%となっている。



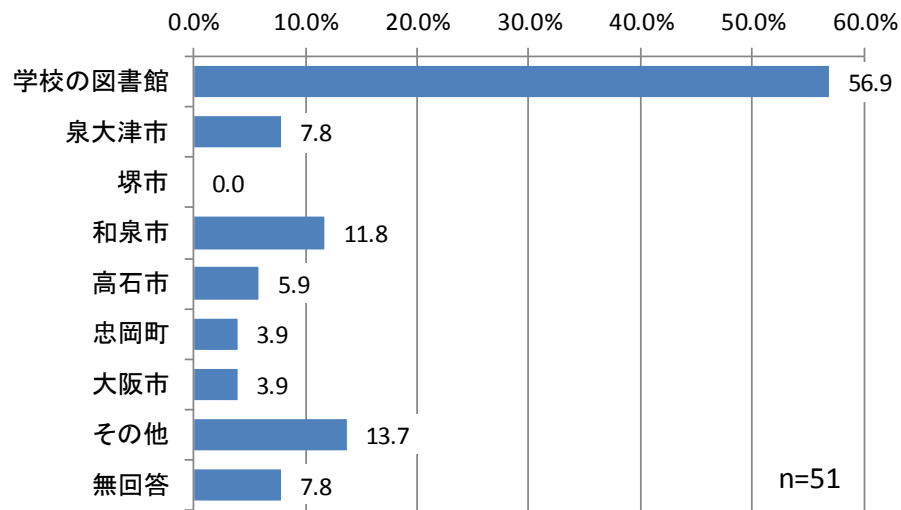
問 2. 図書館を利用する目的は何ですか。主な理由について 3つまで ○をつけてください。

- ・図書館を利用する目的については、「宿題・勉強・仕事をするため」が 64.7%と最も多く、次いで「書籍・雑誌・CD等を借りるため」が 35.3%となっている。



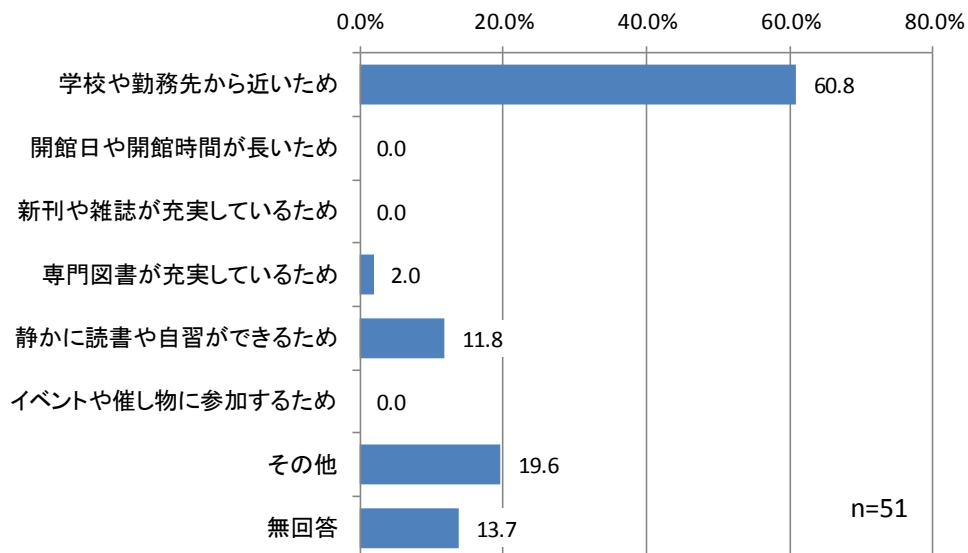
問 3. 主にどこの図書館を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

・利用している図書館は、回答者の大半が大学生であったため、「学校の図書館」が56.9%となっている。



問 15. 上記の図書館を利用する理由は何ですか。主な理由について2つまで○をつけてください。

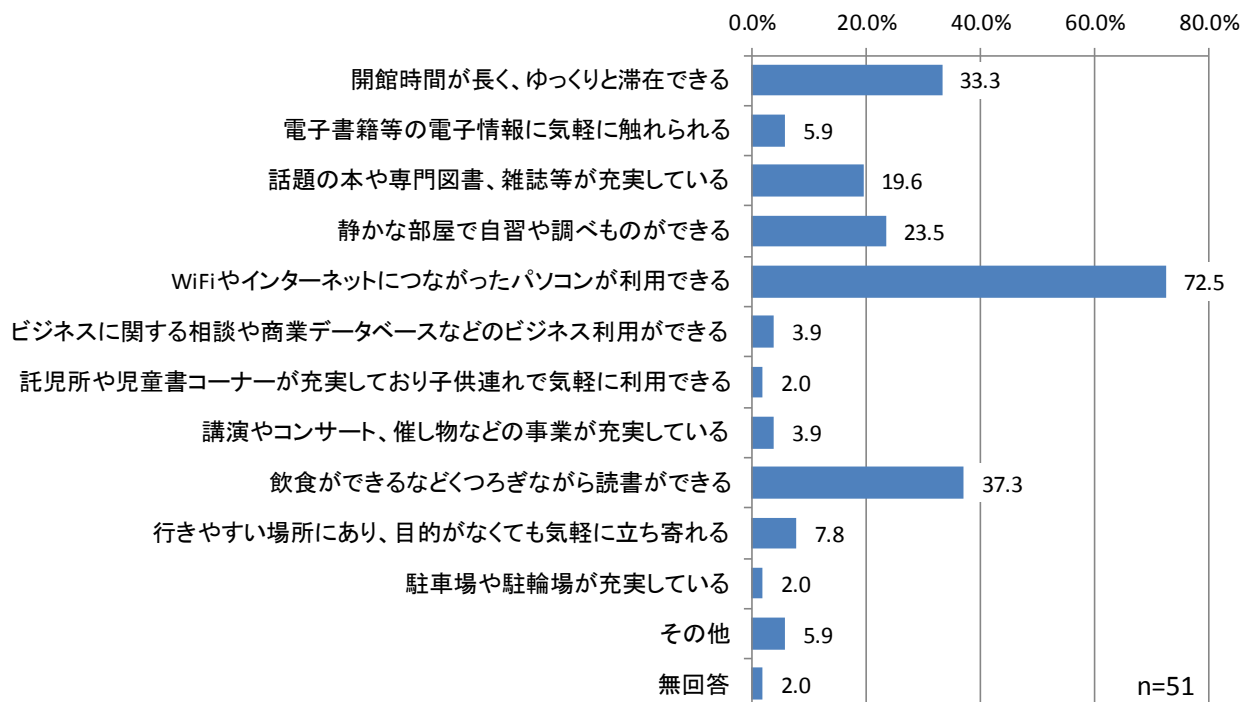
・市外の図書館を利用する理由としては、「学校や勤務先が近いため」が60.8%と最も多く、次いで「静かに読書や自習ができるため」が11.8%となっている。



これからの泉大津市の図書館についてお尋ねします

問 16. 近年、飲食が可能な図書館や夜間も開館している図書館など、新たな魅力を持った図書館が注目されています。泉大津市でも駅前商業施設内に、新しい図書館の整備を検討していますが、どのような機能が充実できれば利用したいと思いますか？（〇は**3つまで**）

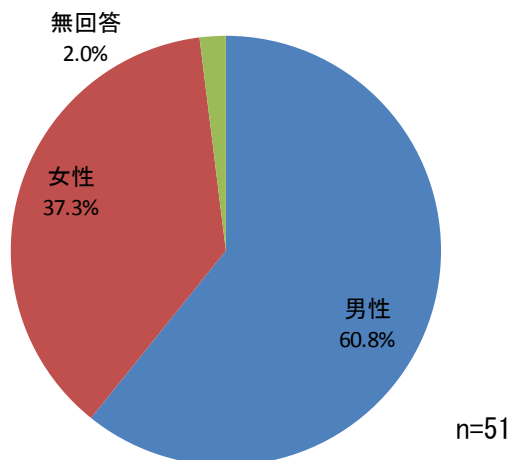
- ・新しい図書館に求める機能については、「Wi-Fi やインターネットにつながったパソコンが利用できる」が72.5%と最も多く、次いで「飲食ができるなどくつろぎながら読書ができる」が37.3%、「開館時間が長く、ゆっくりと滞在できる」が33.3%となっている。



あなたご自身についてお尋ねします

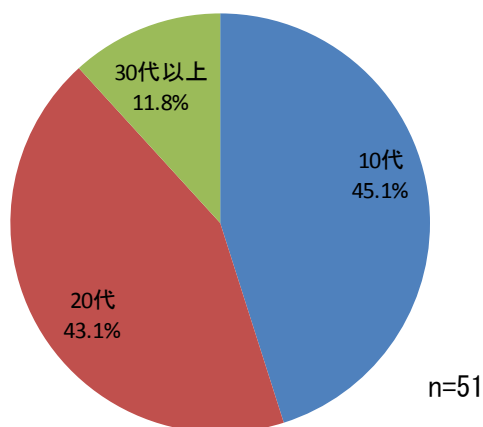
①性別

・「男性」が60.8%、「女性」が37.3%となっている。



②年齢

・最も多いのは「10代」で45.1%、次いで「20代」が43.1%となっている。



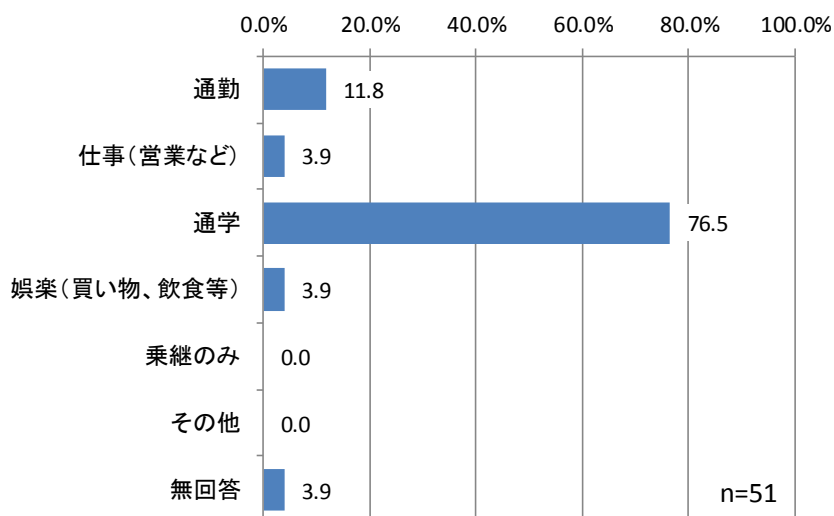
③お住まいの地区

・「泉大津市」が最も多く23.5%、次いで岸和田市が13.7%、阪南市が11.8%となっている。

	回答者数	割合
泉大津市	12	23.5
岸和田市	7	13.7
阪南市	6	11.8
泉佐野市	4	7.8
岬町	4	7.8
貝塚市	3	5.9
大阪市	2	3.9
和泉市	2	3.9
高石市	1	2.0
泉南市	1	2.0
大阪狭山市	1	2.0
忠岡町	1	2.0
和歌山市	1	2.0
無回答	6	11.8
総計	51	100.0

④泉大津に来た目的

・「通学」が最も多く76.5%、次いで「通勤」が11.8%となっている。



⑤来訪頻度・滞在時間

■来訪頻度

	回答者数	割合
3日	2	3.9
4日	4	7.8
5日	23	45.1
6日	1	2.0
無回答	21	41.2
総数	51	100.0

■滞在時間

	回答者数	割合
10分	10	19.6
30分	8	15.7
1時間	1	2.0
無回答	32	62.7
総数	51	100.0

⑥職業

・最も多いのは「大学生」で72.5%、次いで「会社員」が15.7%となっている。

